

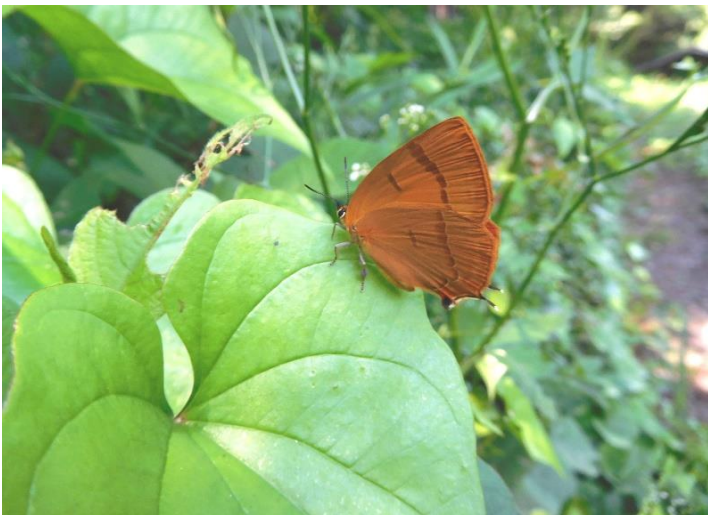
和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
アカシジミ	シジミチョウ科	ヒラヒラ飛ぶオレンジ色のシジミチョウ	X	X	○	全国
成虫発生時期 (月)						
1	2	3	4	5	6	7 8 9 10 11 12
食草 ○ 食樹					発生回数/年	越冬形態
コナラ、クヌギほか (ブナ科)					1	卵



川崎市 5月20日 (2018年)



川崎市 5月25日 (2019年) マテバシイで吸蜜



ムモンアカシジミ 荳崎市 7月10日 (2017年)
羽化したてで這い上がってきたところ

生田緑地にはこのアカシジミと、ウラナミアカシジミというオレンジ色系統の「ゼフィルス」(オオミドリシジミの項で紹介)がいます。アカシジミは出てくるのが比較的早く、最近では5月下旬には羽化したての新鮮な個体が見られます。

ミドリシジミたちのようにオスが占有行動で追い掛け合うということはほとんどなく飛び方もヒラヒラした感じが強いので濃くなってきている緑の中では飛んでいても、とまってもよく目立ちます。

飛んでいる写真が撮れてないので羽の表がわかりませんが、先に黒っぽい斑がある以外は全体にオレンジ色で、オスとメスはなかなか区別が付きません。

生田緑地周辺にはいませんがよく似た蝶でムモンアカシジミという蝶がいます。幼虫はアリ(クサアリ)に守られて育ち、コナラやミズナラといった若葉を食す以外にアブラムシやカイガラムシなどを食す肉食です。母蝶が卵を産むのはこの特定のアリが生活する木の幹に限られるので蝶もどこでも見られるものではありません。

ムモンアカシジミの幼虫はクサアリと共生関係にあるアブラムシ(アブラムシはアリに甘い分泌物を与える代わりに天敵から守ってもらう)を食べてしまうのに、自分はしっかりとクサアリに守られて育つというもつれた関係の中で蝶になります。



←

川崎市緑地 5月19日 (2021年)

小雨降る緑地

スタジイの樹上にオレンジが見える



←

よく見ると雨に打たれたアカシジミ



←

その木の枝にカラスが
飛来し大きく揺れてア
カシジミは振り落とさ
れて力なく塗れた路上
に落下。拾い上げてこ
の指止まれ、すぐにと
まった

→

スタジイの花穂にとまらせてや
るとさっそく、チュウーチュ
ウー吸蜜しだした

